

付録 インターネットの主な出来事 2023

新製品・新サービス・新技術

<p>2023</p> <p>01</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ WPC、次世代ワイヤレス充電「Qi2」を発表。アップル「MagSafe」ベースに(*1) ■ ソニー・ホンダモビリティ、新ブランド「AFEELA」を発表。車両前方に「Media Bar」(*2) ■ AI「Midjourney」で作った漫画『サイバーパンク桃太郎』が単行本に(*3) ■ Twitter Blueが日本でも始動。月980円でツイート編集や青バッジなどを提供(*2) ■ Apple BooksでAIナレーションによるオーディオブックの配信を開始(*2) ■ 信頼できる発信者を識別する技術の実用化・ウェブ標準化を目指す「オリジネーター・プロフィールファイル(OP)技術研究組合」が設立(*4) ■ YouTubeのショート動画で広告収益化が開始、2月から(*5) ■ アップル、新型チップセット「M2 Pro」「M2 Max」を発表、MacBook ProとMac miniに(*5) ■ Prime Videoで2023 WBCの日本代表全試合をライブ配信(*5) ■ Wikipediaのウェブ版で10年以上ぶりのデザイン更新。検索も便利に(*3) ■ LINEドクターでオンライン服薬指導を開始。日本調剤と連携(*1) ■ キヤノン、「画像データの改ざん防止」を目指す米団体に参加。アドビ中心に800社以上で構成(*3) ■ NTTドコモ、成層圏下層から38GHz帯の電波伝搬に成功。HAPSの非地上ネットワークへ期待(*3) ■ 有料版「ChatGPT」が一部ユーザーに試験公開。応答が高速に(*6) ■ NBA、メタとの提携を拡大、Meta Questで50試合以上をVR観戦可能に(*2) ■ グーグル、テキストから音楽を生成するAI「MusicLM」を発表(*2)
<p>02</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ OpenAI、有料プラン「ChatGPT Plus」を提供開始(*2) ■ グーグル、ChatGPTに対抗する独自のAIチャットボット「Bard」を公開(*2) ■ NTTドコモら、遠隔地からロボット手術を支援する実証実験に成功。東京—神戸間で商用5G SAを活用(*5) ■ ツイッター、ユーザーに広告収益を分配するレベニューシェアを開始。まずTwitter Blue加入の支払いが条件(*7) ■ ルーブル美術館、空間を超えた映像アート体験を提供。「8Kだから見えてくる」(*7) ■ DNP、ハイブリッド書店「honto」連動のタテヨミ型コミックアプリの提供開始(*1) ■ Googleマップの「イマーシブビュー」が東京を含む5都市で利用可能に(*2) ■ マイクロソフト、AI搭載「Bing」を発表。“ウェブの副操縦士”のような存在に(*4) ■ Microsoft Edgeがアドビ純正PDFエンジンを搭載。WindowsのPDF体験を向上(*1) ■ Twitterで最大4000文字のツイートが可能に。米国のTwitter Blueユーザーが対象(*2) ■ Googleの「マルチ検索」がいよいよ登場、写真やスクリショ+日本語で検索できる(*5) ■ メタ、研究者向け大規模言語モデル「LLaMA」を公開(*2) ■ Windows 10のIEが完全に無効化(*2) ■ 無料のTwitter APIが2月13日まで延長。月1500ツイートの新アクセス発表(*1)

<p>03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ NTT東西、「IOWN1.0」を3月16日に提供開始(*4) ■ OpenAI、ChatGPT APIの一般提供を開始。アプリにAIチャットを組み込み可能に(*7) ■ ツイッターの元CEOが支援する分散型SNS「Bluesky」がサービス開始(*4) ■ KDDI、Starlinkをバックホール回線にした移動基地局を導入へ(*5) ■ NTTなど4者、光通信と光量子を融合する技術を開発。スーパー量子コンピューター実現に向け一歩(*5) ■ 堀江貴文氏がMVNO事業に参入。月額3030円で20GB+5分かけ放題の「HORIE MOBILE」のサービス開始(*3) ■ 「dTV」が「Lemino」に。NTTドコモ、オリジナル作品を拡充(*3) ■ アマゾン、縦読みマンガに参入。「Amazon Fliptoon」を提供開始(*1) ■ OpenAI、GPT-4を発表。精度が向上、画像に関する質問にも対応(*2) ■ アルファベット傘下のWing、ドローンによる自動配送ネットワークを発表(*2) ■ グーグル、AIを全面展開。PaLM APIやクラウド拡大、GmailやDocsも(*1) ■ マイクロソフトの検索エンジン「Bing」がOpenAIの「GPT-4」で動作(*5) ■ バイドゥ、中国版「ChatGPT」を発表。AIでも米中競争が激化(*3) ■ 「Microsoft 365 Copilot」を発表、AIが返信メール作成やウェブ会議の内容を自動でまとめる(*5) ■ アドビ、画像生成AI「Firefly」を発表。Creative Cloudなどに搭載へ(*2) ■ あらゆる製品にAI搭載するマイクロソフト、AzureにもGPT-4を搭載(*1) ■ BingのチャットがMicrosoft Edgeのサイドバーから利用可能に(*6) ■ 理研ら、国産初の超伝導量子コンピューターを稼働。外部から使えるクラウドサービスも(*9) ■ GitHub、GPT-4で大幅パワーアップした「GitHub Copilot X」を発表(*10) ■ ツイッター、組織の「認証バッジ」開始。月13.5万円のゴールドバッジ(*1) ■ ツイッター、月額8000円の「認証済み組織アカウント」の受け付け開始(*3)
<p>04</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ Apple Booksに縦読みマンガが登場、韓国の人気スタジオ作品を独占配信(*5) ■ Stable Diffusionの上位モデル「XL」のベータ版公開。画像の補完なども可能に(*9)
<p>05</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ マイクロソフト、AI活用の「Bing」「Edge」を一般向けに開放(*5) ■ アップルとグーグル、「AirTag」「Tile」など追跡デバイスの悪用を防ぐ新仕様を共同発表(*5) ■ グーグルの生成AI「Bard」が日本語に対応、大規模言語モデル「PaLM 2」搭載(*4) ■ 「Google Pixel 7a」発表。「Tensor G2」や8倍の超解像ズーム(*5) ■ Googleマップの没入型ルート案内の「イマーシブビュー」、数か月のうちに東京でも展開(*5) ■ グーグル、生成型AIによるコンテンツを検索結果に表示、まずは米国から(*5) ■ グーグル、折り畳み型スマホ「Google Pixel Fold」を発表、25万3000円(*5) ■ 富士通ら、「富岳」で大規模言語モデルの研究開発を開始(*1) ■ グーグル、東大およびシカゴ大と量子コンピューターを共同研究。日米政府の政策を支援(*2) ■ スパコン「富岳」、2部門で7期連続の世界1位。総合的な実力の高さを示す(*3) ■ アドビ、Photoshopに画像生成AI「Firefly」を搭載へ(*2) ■ Microsoft 365 CopilotをEdgeにネイティブ統合へ(*2) ■ マイクロソフトのBingがChatGPTのデフォルト検索エンジンに(*2) ■ ChatGPT、ついにiPhone向けの公式アプリが登場(*5) ■ EPUB 3.3がW3C勧告に(*11) ■ 集英社、縦読みマンガの新サービス「ジャンプTOON」をリリースへ(*5)

06	<ul style="list-style-type: none"> ■集英社、「AI グラビア」を発売。実在しない「妹系美少女」の画像を編集部が生成(*3) ■メディアドットと早川書房、新レーベル「ハヤカワ新書」で世界初のNFT電子書籍付き新書を発売。(*4) ■Apple Vision Proが登場。アップルが開発した初の空間コンピューター(*12) ■アップル、M2 Ultraを発表(*12) ■iPadOS 17、iPadに新たなレベルのパーソナライズと汎用性を提供(*12) ■メタ、Meta Quest 3を正式発表、VRと高精度MR対応・描画性能2倍・薄型化で7万4800円。Quest 2は値下げ(*7) ■Audibleに村上春樹作品やマーベルとのオリジナル作品が登場(*5)
07	<ul style="list-style-type: none"> ■動画配信のU-NEXT、「ブック」サービスとして強化。「毎日無料」開始(*1) ■メタの新アプリ「Threads」が予定前倒しでサービス開始、Android版も(*5) ■アドビの画像生成AI「Firefly」が日本語プロンプトに対応(*1) ■メタ、新たな大規模言語モデル「Llama 2」を提供開始。商用利用可でGPT-3.5に匹敵(*1) ■Microsoft 365 Copilotは月30ドル。Bing Chat Enterpriseも登場(*1) ■Stability AI、手書きのスケッチを画像に変換するAIツール「Stable Doodle」を公開(*2) ■ヤフオク!が「Yahoo!オークション」に名称変更(*1)
08	<ul style="list-style-type: none"> ■Amazon Music Unlimitedのプライム会員向け価格が値上げ、個人プランは月額880円から980円に(*5) ■YouTube Premiumが値上げ、個人プランは月額1180円から1280円に(*5) ■Amazonプライムが値上げ、個人プランは月額500円から600円に(*5) ■OpenAI、GPT-3.5 Turboのファインチューニングに対応。常に日本語での応答を実現(*1) ■Stability AI Japan、日本語で画像について説明できるJapanese InstructBLIP Alphaをリリース(*4) ■X (Twitter) が通話機能を実装へ(*5)
09	<ul style="list-style-type: none"> ■OpenAI、待望のエンタープライズ向け「ChatGPT」を発表(*13) ■Slack、生成AI活用の新機能「Slack AI」などを発表(*5) ■アドビの生成AI「Adobe Firefly」が正式提供開始、商用利用も可能でPhotoshopやIllustratorとの連携も(*5) ■Stability AI、音楽とサウンド生成のための「Stable Audio」を発表(*14) ■Google Chromeが15周年で新デザインに、生成AI活用の新機能も(*5) ■macOS Sonoma 配信開始。セキュリティ修正も多数(*9) ■Windows 11が9月26日に大型アップデート。Windows Copilotをプレビューとして実装(*9) ■MRのためのMeta Quest 3が登場。7万4800円(*1)
10	<ul style="list-style-type: none"> ■グーグル、Google Pixel 8 Proを発表、フラットディスプレイやTensor G3を搭載(*5) ■グーグル、生成AI検索 (SGE) の利用対象を米国で13歳以上に拡大(*2) ■スマートホーム共通規格「Matter 1.2」がリリース、新たに冷蔵庫や洗濯機などをサポート(*5) ■小学館、バーチャルエンタメ事業に参入。VRエンタメ配信の第1弾は『しおあま』(*2) ■伊藤園のCM出演のAIタレントがSNSで話題に(*3) ■アップル、パソコン向けとして最も先進的なチップのM3、M3 Pro、M3 Maxを発表(*12)

11

- OpenAI、ノーコードでカスタムアプリを作れる「GPTs」を発表 (*1)
- イーロン・マスク氏の新会社「xAI」、新AIモデル「Grok」を発表。「リアルタイムな知識」を持つ (*1)
- パルコ、ファッション広告にAIモデルを起用。「AIと分かったときの驚きを追求した」 (*3)
- サムスン、生成AI開発に参入。Galaxy 端末搭載へ (*3)
- ワイヤレス充電の新規格「Qi2」、正式版が発表 (*5)
- XRグラス「VITURE One」発売、Nintendo Switch用アクセサリなども同時展開 (*5)
- NTTドコモ、ARグラス「Rokid Max」を発売。動画やゲームでXR体験 (*1)
- テレビ北海道、お天気キャスターにデジタルヒューマンを起用。視聴者と「不気味の谷」について考える (*3)
- Stability AI、Stable Video Diffusionの研究プレビュー版を公開。テキストから動画の生成が可能に (*13)

12

- Copilot in Windows が正式提供開始 (*9)
- グーグルの次世代生成AIモデル「Gemini」が登場。「専門家を超越るAI」 (*1)
- Pixel 8 Proが新AI「Gemini」を即日搭載。レコーダー要約やスマート返信が可能に (*1)
- インテル、生成AI時代の新CPU「Core Ultra」を発表。ローカルでの画像生成やLLM活用を披露 (*3)
- マイクロソフトの「Word」「Excel」「PowerPoint」がMeta Questで利用可能に (*3)
- Mozilla、AIでウェブサイトを自動制作する「Solo」を公開 (*15)

買収・IPO・合併・企業

2023

01

- アマゾン、1万8000人超の人員削減を発表 (*2)
- NTTドコモ、dゲームの9月終了を発表。dコインは3月27日に販売終了 (*5)
- スマートニュース、米国などで人員削減。景気後退を懸念 (*16)
- メディアドゥ、韓国の縦読みマンガ制作スタジオに出資 (*17)
- コインベース、1年半で日本撤退 (*1)
- TBSテレビと共同通信社、コンテンツメディアコンソーシアムに参画 (*18)
- DMM、Web3事業に関する新会社「DM2C Studio」を設立 (*2)
- パナソニック、2月で録画用Blu-ray Discの生産終了へ。後継商品は予定無し (*2)
- 楽天モバイル、“郵便局店”200店舗閉鎖。今後はサービスを案内するチラシを設置 (*1)
- 電通グループ、エンタメコンテンツ領域におけるNFTの実証実験「絵師コレクション」を開始 (*3)
- アルファベット、1万2000人の人員を削減へ (*2)
- マイクロソフト、ChatGPTのOpenAIに投資、数十億ドル (*16)
- マイクロソフト、1万人の人員削減へ。過去8年間で最大規模 (*2)
- Spotify、約6%の人員削減へ (*2)
- フレッツ・ADSLのサービス終了 (*1)
- LINE BLOGのサービス終了。約8年半の歴史に幕 (*1)
- 「めっちゃコミ」運営会社、米国でも漫画アプリ「Comicle」を展開。日本のマンガを世界に発信 (*19)

<p>02</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベイバル、約2000人（約7%）のレイオフを発表（*3） ■ Spotify、有料会員数2億500万人を突破。予想を上回る伸び（*2） ■ NTTドコモ、オリジナルの縦読みマンガに参入。韓国制作会社と提携（*3） ■ PayPayのユーザー数が5500万人を突破、本人確認済みユーザーも増加（*5） ■ LINE、CLOVAなどAI事業をワークスモバイルジャパンに売却（*1） ■ メタのマーク・ザッカーバーグCEO、2023年はAIとメタバースを優先する意向（*6） ■ グーグルのサンダー・ピチャイCEO、「強力な言語モデルと直接対話できるように」と発言。AI採用の独自アプリ発表を示唆（*3） ■ グーグル、ChatGPT 競合チャットボット開発中の新興企業「Anthropic」を支援（*3） ■ ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ、従業員の15%である約1300人の人員削減へ（*2） ■ グーグルとJASRAC、YouTubeでの音楽利用に関する新契約を締結（*5） ■ 主婦の友インフォス（現・イマジカインフォス）、デジタルコミック「WEBTOON」制作部門を事業譲受（*18） ■ ディズニー、7000人の人員削減へ（*2） ■ U-NEXTとParaviが統合。視聴者370万人以上で国内勢最大に（*2） ■ バンダイ、縦読みマンガ事業に参入。3年間で10億円投資（*2） ■ イーロン・マスク氏、「2023年末までにツイッターの後任CEOを見つける」と発言（*2） ■ Yahoo!ニュース、電話番号設定の必須化で“不適切なコメント”などが減少（*5） ■ メタのマーク・ザッカーバーグCEOがInstagram、WhatsApp、Messenger向けのAI開発チームを設立したことを発表（*20） ■ アマゾン、ワン・メディカルの買収完了。サブスク医療サービスを年額144ドルで提供へ（*3）
<p>03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ YouTubeの新CEO、生成型AIの責任ある利用を目指す（*2） ■ リード・ホフマン氏がOpenAIの取締役を辞任（*3） ■ メタ、FacebookとInstagramの収益化ツールとしてのNFTから撤退（*3） ■ メタ、さらに1万人の人員削減へ（*2） ■ アマゾン、レジなしコンビニ「Amazon Go」8店舗を閉店へ（*2） ■ OpenAI、GPT-4を公開。詳細な技術情報は非公開（*2） ■ TikTokのCEO、米議会公聴会を前に米国でのアプリ利用者数は1億5000人超と公表（*2） ■ アマゾン、9000人の従業員を追加削減へ。AWSや広告事業などが対象（*6） ■ VTuber事務所「ホロライブ」運営のカバー、東証グロース上場（*3） ■ フルカラー縦読みマンガ「Webtoon」スタジオのソラジマ、約10億円を調達（*2） ■ PHSが終了（*5） ■ GYAO!が18年の歴史に幕。LINE LIVEも同日に閉鎖（*3） ■ OpenAIのサム・アルトマンCEO、東京を含む世界17都市で「ChatGPTやAIについて話し合う」行脚へ（*3） ■ マイクロソフト、Bingのチャットで広告表示をテスト（*2）

04	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソニーグループ社長交代。十時裕樹副社長が昇格、吉田憲一郎氏は CEO 続投 (*2) ■ ブックライブ、NFT マーケットプレイス運営のメモリアを子会社化 (*2) ■ ChatGPT が個人情報の扱いを「減らす」。イタリアの禁止を受け (*21) ■ OpenAI のサム・アルトマン CEO、「日本の ChatGPT ユーザーは 100 万人超」 (*3) ■ OpenAI のサム・アルトマン CEO、日本に対する 7 つの約束。「日本関連の学習ウエートを引き上げ」 (*3) ■ OpenAI、「AI の安全性に対する当社のアプローチ」を説明。「年齢確認オプションを検討中」 (*3) ■ OpenAI、安全性で声明、「やるべきことはたくさんある」 (*1) ■ OpenAI の活動は「研究開発ではなく製品開発」。メタのヤン・ルカン氏 (*2) ■ グーグル、AI 分野の 2 つの研究グループを統合。「Google DeepMind」を新設 (*6) ■ バズフィード・ニュース、人員削減の一環で閉鎖へ (*22) ■ Twitter が従来版の青い認証バッジを削除 (*5) ■ NTT ドコモ、「スマホがつながりにくい問題」の今夏までの解消を目指すと発表 (*5) ■ ホンダ、独自のピークル OS の開発へ。2025 年の投入を目指し人材採用を倍増 (*3) ■ 楽天モバイル、市販スマホで直接衛星と通信。世界初の通話成功 (*1)
05	<ul style="list-style-type: none"> ■ AI の第一人者ジェフリー・ヒントン氏、グーグルを離脱。AI の危険性に警鐘 (*22) ■ メルカリ、生成 AI や大規模言語モデルの専門チームを設置。グループ横断で本格化 (*5) ■ サザビーズ、NFT 流通市場を立ち上げ (*23) ■ 講談社、米国向けマンガ配信サービスを開始 (*18) ■ バルミューダ、携帯端末事業から撤退 (*5) ■ ツイッターの新 CEO がリンダ・ヤッカリーノ氏に。米メディアの元広告責任者 (*2) ■ KDDI、IIJ と資本業務提携契約を締結 (*5) ■ マイクロソフト、リスク低減に向け AI の新たな規制を呼びかけ (*6) ■ マイクロソフト、Activision 買収阻止の判断をめぐり英当局に不服申し立て (*2) ■ OpenAI、AI を規制する 3 つの方法を提案 (*2) ■ OpenAI、株式公開買い付けにより 4 億 9500 万ドルを調達。同社設立のペーパーカンパニーを通じて実施 (*24)
06	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集英社、AI グラビアの販売終了。「生成 AI の課題について検討が足りなかった」。Twitter アカウントも削除 (*3) ■ LINE、証券事業を再編。主要サービスは野村証券へ移管など事実上撤退へ (*5) ■ マイクロソフト、OpenAI の GPT モデルを政府機関ユーザーに提供へ (*25) ■ OpenAI のサム・アルトマン CEO、ソフトバンクの孫正義社長と事業を模索 (*26) ■ TVer の 5 月の動画再生数が前年同月比約 1.8 倍の 3.5 億回に。月間ユーザー数も最多 (*27) ■ NTT ドコモ、「ahamo」の契約数が 500 万を突破 (*5)
07	<ul style="list-style-type: none"> ■ NTT ドコモ、Web3 の新会社「NTT Digital」を始動。トークンウォレットを年内提供 (*1) ■ イーロン・マスク氏、新会社「xAI」を設立。「宇宙の本質を理解する」ために (*2) ■ ソフトバンク、空飛ぶ基地局を目指す「HAPS モバイル」を吸収合併 (*5) ■ Twitter の公式アカウント名が「X」に変更。リンダ・ヤッカリーノ CEO「X は音声・動画、メッセージング、金融を軸にした双方向の世界」 (*5) ■ OpenAI、米ジャーナリズム慈善団体に 500 万ドルを提供 (*28)
08	<ul style="list-style-type: none"> ■ J-Coin Pay、三菱 UFJ 銀行と連携開始 (*1) ■ KDDI、スペース X との提携によりスマホの直接衛星通信サービス提供へ (*4)

<p>09</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ NTTドコモ、ひかりTVゲームを9月末で終了(*5) ■ イーロン・マスク氏「Xの広告収入は6割減」、原因はユダヤ系団体と主張(*5) ■ グーグル25周年。「AIは最大の変化」(*1) ■ ソフトバンクとOneWeb、日本の衛星通信サービス展開のため販売パートナー契約(*5) ■ アーム、米NASDAQ上場へ。総額7兆円超(*5) ■ ビル・ゲイツ、イーロン・マスク、マーク・ザッカーバークの3氏ら集結。米上院でAI規制めぐり論議(*22) ■ ヤフー、「優越的地位の可能性ある」との指摘受けニュース配信元との契約見直しを検討(*3) ■ OpenAI、AIのリスク管理強化に向け専門家を募集。「レッドチーム」を立ち上げ(*2) ■ イーロン・マスク氏、Xの「信頼と安全」担当者を新たにレイオフ。広告収入は同氏の陰謀ツイートで半減(*24) ■ アマゾン、生成AI強化へ。Anthropicに40億ドル出資(*1) ■ グーグル、ウェブサイトのコンテンツをAIトレーニングからオプトアウトするツールを提供(*3) ■ アマゾン、マイクロソフトの最高製品責任者パノス・パネイ氏の入社を発表(*2)
<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ LINEヤフーが発足、事業の統廃合を進め、経営を効率化(*5) ■ 国産量子コンピューター初号機「叡(えい)」に。英語表記は“A”、理研が発表(*3) ■ メタ、大規模言語モデルで「Llama 2の責任ある使用のためのガイド」日本語版を公開(*27) ■ マイクロソフト、日本のAIガバナンスに関するレポートを公開、「日本のリーダーシップを多くの国が期待」(*3) ■ NTTドコモ、通信品質対策で新たに300億円を投入。設備を高度化しAIでSNSも迅速に分析(*5) ■ 読売新聞とLINEヤフー、共同声明を発表(*4) ■ ソフトバンク、成層圏からの5G通信試験に成功。ルワンダ政府と協力(*5) ■ 手数料無料の「こたら送金」が1周年。293金融機関に拡大、累計送金額1330億円(*1) ■ グーグル、生成AIユーザーを著作権侵害の訴訟から擁護すると発表(*2) ■ マイクロソフト、Activision Blizzardの買収を完了(*2) ■ NTTの島田明社長「NTT法、結果として廃止につながる」とコメント(*5) ■ U-NEXT、会員400万人突破。Paravi統合でドラマ拡充(*16)
<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトバンク、スマホ契約数が3000万件を突破(*5) ■ NTTドコモの5G契約数が2484万件に到達(*5) ■ ディズニー、Huluを買収。ストリーミング強化(*1) ■ YouTubeがAI生成コンテンツのラベル表示を義務付けへ(*2) ■ Blueskyのアカウント数が200万人を突破(*20) ■ ニューヨーク・タイムズ、広告売上高6%増。購読者は1000万人超に(*29) ■ OpenAIのサム・アルトマン氏が解任、取締役会は「率いる能力を信頼していない」(*5) ■ サム・アルトマン氏、OpenAIのCEOに復帰へ(*5) ■ イーロン・マスク氏が「X」で“反ユダヤ”投稿に賛同。波紋広がる(*26) ■ マイクロソフト、EUのデジタル市場法に対応するWindowsの変更点を発表(*2) ■ マイクロソフト、「Bing Chat」を「Copilot」にブランド変更、ウェブブラウザからも利用可能に(*5) ■ さくらインターネット、ガバメントクラウドのサービス提供事業者に国内事業者として初めて選定(*4) ■ グーグル、カナダでニュース対価支払いに合意。報道機関に年110億円(*21) ■ NTTら4社、アマゾンの衛星インターネット「Project Kuiper」との協業に合意(*4) ■ PayPay、本人確認済みユーザーが2500万人超え(*1) ■ 楽天モバイル、契約数が600万回線に到達(*5)

12

- メタやIBM、オープンなAI開発推進でAI Allianceを結成。50以上の組織が参加(*2)
- NTTとスカパーJSAT、マイクロソフトと宇宙データセンターの実現に向け協力(*1)
- ハイブリッド書店「honto」、本の通販ストアを終了。電子書籍は継続(*1)
- NVIDIAのCEOが日本に研究拠点設置とスタートアップ投を表明(*21)
- NTTドコモやメディアドゥら4社、海外向けコミック配信で提携(*1)
- テスラ、人型ロボット「Optimus」の、卵をつかめる第2世代を公開(*1)
- DMMのハード開発支援施設「DMM.make AKIBA」が閉鎖(*1)
- アドビ、Figmaの買収を断念。欧州規制当局の承認を得られず(*1)
- OpenAI、フロンティアAIモデルに対する安全性計画を発表。取締役会に拒否権(*2)
- アマゾンの衛星通信「Project Kuiper」、100Gbpsの光衛星間通信に成功(*1)

法制度・行政・事件・社会

2023

01

- スペースX、「Starlink」衛星の天体観測への影響軽減へ。米国立科学財団と合意(*2)
- システム障害で米国の全国内便が一時運航停止に。1万便以上に影響(*2)
- 世界遺産の仁和寺がクラウドファンディングで名勝庭園をメンテナンス。NFTを用いた返礼品も(*3)
- JASRAC、メタバースでの楽曲利用料を公表(*3)
- CNET、AIで記事を書いていることを問題視されて記事の公開を停止へ(*20)
- 米司法省、グーグルを再び提訴。デジタル広告市場の支配を問題視(*2)
- 情報漏えい事故を起こした上場企業が25%増、東京商工リサーチ調査(*3)
- プラットフォームへの削除請求権について、新聞協会が「安易な削除を強く懸念」とする意見書を提出(*21)
- TikTokのCEO、3月に米下院公聴会で証言へ(*2)
- 米司法省、ランサムウェアグループ「Hive」の解体に成功(*2)
- ChatGPTがスタンフォード大期末試験で大量利用(*28)
- アップルのティム・クックCEO、岸田文雄首相に「iPhoneのサイドローディング問題」を直談判(*3)

02

- オンラインでの転出届提出が可能に。マイナポータルで対面不要(*1)
- 経産省ら、クレジットカード会社にフィッシング対策の強化を要請、DMARCの導入など(*4)
- 米議員がアップルとグーグルにアプリストアからのTikTok削除を要請(*2)
- バイデン政権、アップルとグーグルのアプリストア開放を議会に要請(*3)
- 学校でのChatGPT利用をシンガポール政府が容認へ(*2)
- アマゾンの衛星ブロードバンド計画「Project Kuiper」をFCCが承認(*2)
- スペースXがウクライナ軍の「Starlink」の利用を制限したと判明、「兵器化する意図はなかった」と幹部(*20)
- 日本レコード協会、音楽違法アップローダーの発信者情報開示請求がほぼ完了。19人に平均40万円の賠償金(*3)
- 三井住友銀行や三菱UFJ銀行ら10社、ジャパン・メタバース経済圏に向けたメタバース基盤の構築に合意(*2)
- マイナンバーカードの申請数が7割超え(*1)
- 公用スマホでTikTokを含むSNSは禁止。松野博一官房長官が明かす(*3)
- TikTok、欧州委員会も職員の業務用端末での利用を禁止へ(*26)
- 米著作権局、AIが生成した画像を保護対象と認めず(*9)

03

- ニニコ動画の記者が官房長官会見で ChatGPT を使い質問 (*16)
- マイナカードの保険証一体化やマイナンバー利用拡大などを閣議決定 (*1)
- マイナンバーカードの申請数が日本の人口の 3/4 に。9416 万件 (*1)
- CNET、AI で記事生成を始めてわずか数週間後に大規模な人員削減を実施。主要メンバーの 10% が解雇され編集長は辞任して AI 担当に転身 (*20)
- 3月27日からパスポートの更新や紛失手続きがオンラインで可能に (*2)
- マイナンバーカード申請が累計 9500 万枚超え。人口の 75% (*3)
- マルウェア「Emotet」の攻撃再開に JPCERT/CC、IPA が注記喚起 (*4)
- YouTube がトランプ氏のチャンネル停止を解除 (*2)
- ChatGPT で 20 日に障害、一部ユーザーの情報流出も (*5)
- 「GPT-4 よりも強力な AI の開発を停止せよ」— 公開書簡にイーロン・マスク氏やスティーブ・ウォズニアク氏が署名 (*3)
- インターネットアーカイブ、電子書籍の著作権を巡る大手出版社との著作権訴訟の一審で敗訴 (*20)
- 「TikTok はユーザー情報を中国政府に渡さない」。CEO が米議会で証言へ (*2)
- 政府のデータポータルが始動。各種統計をグラフや地図で可視化、資料の全文検索も可能に (*2)

04

- ChatGPT がイタリアで一時的に禁止。データ収集に懸念 (*2)
- TikTok、オーストラリアも政府の業務用端末での使用禁止発表 (*26)
- ChatGPT へのアクセスをブロックしたイタリアに続きドイツなど EU 諸国でもブロックを検討中 (*20)
- カナダ当局、ChatGPT 開発元の調査を開始。個人情報の扱いを懸念 (*6)
- ChatGPT 開発企業のサム・アルトマン CEO、岸田文雄首相と面会 (*26)
- OpenAI の CEO、「クリエイターに経済的に報いたい」— 自民党 PT で発言 (*3)
- 文科省、ChatGPT などの学校現場での取り扱いを示す資料を作成へ (*26)
- 「信頼できる AI の普及」を G7 デジタル相会合で議論へ。松本剛明総務相 (*21)
- 米国モンタナ州、TikTok の全面禁止法案を可決。知事が署名すれば来年 1 月発効へ (*7)
- 東大、京大、上智大など、ChatGPT でのレポート作成への見解示す (*21)
- ChatGPT 排除は「非現実的」— 頭をひねる大学。学生が AI 添削も (*21)
- 生成 AI の祝辞は「空虚だがもっともらしい」— 名大総長が語る危機感 (*21)
- 東工大、ChatGPT などの AI は「全面禁止しない」— 学生の主体性を信頼 (*3)
- ブラジルでアニメ海賊版サイトを一斉摘発する「Operation Animes (アニメ作戦)」が実施、36 サイトが閉鎖 (*4)
- G7 デジタル相会合、共同声明案「信頼できる AI」行動計画策定へ (*26)
- サブスクの課金ルールの適正化についてガイドラインを制定。解約条件の提示などを義務付けへ (*2)
- アップル、Epic Games との独占禁止法訴訟に勝利 (*9)
- 健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化。マイナンバー改正法案衆院可決で (*3)

<p>05</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 京都府警、リーチサイト「映画の無料動画で夢心地」など5サイトの運営者4人を一斉取り締まりで逮捕(*4) ■ Androidスマホで「行かない役所」が始まる。「スマホ用電子証明書搭載サービス」(*1) ■ G7 デジタル大臣会合閉幕。DFFT 推進や責任ある AI などで共同声明(*1) ■ 岸田文雄首相が AI 戦略会議の設置を表明。6 月までに中間集約(*16) ■ 生成 AI をめぐり「新規参入が困難の可能性」—公正取引委員会が言及(*21) ■ 米政権、マイクロソフトやグーグルなどの CEO らと AI のリスクについて会談(*2) ■ 神戸市、ChatGPT の業務利用に関するルールを条例化(*6) ■ 富士通 Japan、コンビニ交付でまた不具合。抹消したはずの印鑑登録証明書を誤発行(*3) ■ AI 利用の選挙干渉に「重大な懸念」、OpenAI トップが議会証言(*25) ■ 富士通、マイナカードでの証明書コンビニ交付サービスを最長 6 月 4 日まで停止。一斉点検へ(*5) ■ YouTube が誤情報やフェイクニュースに対する取り組みを紹介(*4) ■ 生成 AI が G7 サミットでも議論に。「広島 AI プロセス」立ち上げへ(*2) ■ AI に「仕事奪われる」、ハリウッドで大規模スト。すでに ChatGPT で脚本や絵コンテ作成の例も(*30) ■ ジェフリー・ヒントン氏が AI の問題についてコメント(*31) ■ 武蔵野美術大学学長が生成 AI について見解を示す(*32) ■ 新聞協会、生成 AI による報道機関の記事や写真の無断利用に懸念。「健全な言論空間が混乱」(*30)
<p>06</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 漫画リーチサイト「13DL」が閉鎖。CODA が米裁判所に申し立て(*4) ■ アップルに「アプリストア」開放義務付けへ。政府が新たな巨大 IT 規制、他社参入を促す(*30) ■ 改正マイナンバー法が成立。健康保険証は 2024 年秋に廃止、マイナカードに統一化へ(*3) ■ 個人情報保護委員会、OpenAI に個人情報保護の徹底を要請(*1) ■ 自宅から e-Tax が確定申告のスタンダードに。592 万人が利用(*1) ■ 生成 AI 画像は類似性が認められれば「著作権侵害」。文化庁(*9) ■ 総務省、700MHz 帯プラチナバンドの割り当て方針案を発表、楽天モバイルに有利な基準に(*5) ■ EU、グーグルが広告で競争法違反との暫定見解。事業売却を求める可能性も(*3) ■ 欧州議会、AI の規制法案で生成 AI も盛り込む修正案を採択(*26) ■ メタ、カナダでニュースの表示を終了へ。対価の支払い求める法案可決で(*2) ■ 文化庁が「AI と著作権」セミナー映像と資料を公開(*4)
<p>07</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ AI 規制法案は「現状の課題に対処せず競争力を損ねるだけだ」と欧州企業 150 社以上が公開書簡に署名して猛抗議(*20) ■ FTC、フェイクレビューや関係者レビューなどを禁止する新ルールを提案(*4) ■ マイナンバーカードの返納が 7 年半の累計で 47 万件(*1) ■ 公金口座ミスで個人情報委がデジタル庁に立ち入り検査へ、「適切に対応」と河野太郎デジタル相(*33) ■ 作家らが OpenAI とメタを提訴。著作権侵害で(*2) ■ EU と米連邦政府、EU の個人データの米国内保有を認める新協定で合意(*3) ■ マイナンバーカードの保有枚数を公表。8816 万枚で人口の 7 割(*1) ■ 総務省、令和 5 年版「情報通信白書」公表。テーマは「新時代に求められる強靱・健全なデータ流通社会の実現に向けて」(*4) ■ ChatGPT 開発元の OpenAI、消費者へのリスクをめぐり FTC が調査へ(*2) ■ グーグル、マイクロソフト、OpenAI ら、責任ある AI 開発に向けた業界団体を立ち上げ(*1)

<p>08</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■国立科学博物館、クラウドファンディングで1億円募る。光熱費高騰で(*16) ■ローマ教皇がAIのリスクを警告、「暴力や差別の論理」を根付かせてはならないと訴える(*20) ■ソニーら音楽各社、著作権侵害でインターネットアーカイブを提訴。SPレコード2749作品以上をデジタル化・公開(*7) ■「生成AIは著作権保護の検討が不十分」と、新聞協会などが声明を発表。「著作権法第30条の4は大きな課題」(*3) ■雑書協など4団体、「生成AIに関する共同声明」を発表(*17) ■生成AI画像は「二次的著作物」と日本写真家協会。「出典の明記を」(*3) ■総務省、ヤフーに行政指導。位置情報等をNAVERと試験共有(*1) ■イーロン・マスク氏がウクライナの激戦地でインターネットを遮断して年580億円を要求(*28) ■ドナルド・トランプ前米大統領が2年以上ぶりにX(旧Twitter)にポスト(*3) ■Google、EUのデジタルサービス法の発効に向けて広告に関する透明性向上を約束(*3)
<p>09</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■報道・メディア26団体、「世界AI原則」を発表。日本新聞協会も(*21) ■LINEでの公的個人認証が民間企業にも対応。金融やギグワークで本人確認が可能に(*1) ■出版社から著作権侵害で訴えられたインターネットアーカイブが控訴、苦戦必至も「今こそ図書館のために立ち上がる時」と気炎(*20) ■著名SF作家らがまたもOpenAIを提訴。ChatGPTの著作権侵害で(*34) ■衛星通信のStarlinkは「全ての前線で使用」—ウクライナ高官(*22) ■欧州委員会、アップル、GoogleなどDMA(デジタル市場法)の「ゲートキーパー」6社を発表(*3) ■米議会、AI規制をめぐる特別会議。テック大手トップら集結(*16) ■「漫画村」の元運営者が再審請求へ。「漫画のデータは別サイトのもの」(*21) ■アップル、仏当局からのiPhone 12電磁波問題を否定もアップデートで対応へ。EU各国への問題拡大前に沈静化を図る(*7) ■ハリウッドの脚本家が映画会社と暫定合意。約5か月のスト終結に前進(*25) ■FTC、独禁法違反でアマゾンに提訴。アマゾンは反論(*1) ■マイナ保険証の利用率は5 ■公正取引委員会「ヤフーは優越的地位の可能性」—Yahoo!ニュースなど、ニュースポータルの実態調査(*3)
<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■生成AI共通ルール作りへ。米IT企業が安全性確保など協力の意向(*26) ■アマゾンのProject Kuiperが衛星の初回打ち上げに成功。Starlink対抗(*2) ■コールセンターの個人情報約900万件が不正に持ち出される。NTT西日本子会社が情報を公開(*4) ■コンテンツメディアコンソーシアム、「クオリティメディア宣言」を発表し団体名も変更、デジタル広告の信頼性向上に取り組む(*4) ■米連邦政府、AI関連チップの中国輸出規制強化へ(*3) ■アップルが反発、「日本社会や国民脅かす」—日本のスマホアプリ規制案に(*21) ■メタ、投稿削除を7倍に。ハマス攻撃後の3日間で(*16) ■期限切れのGo To Eatキャンペーン関連JPドメイン名がオークションに続々登場(*4) ■生成AIの日本での認証制度づくりに企業が新たな業界団体設立へ(*26) ■総務省、楽天モバイルへの“プラチナバンド”700MHz帯の割り当てを発表(*5) ■音楽出版社大手、歌詞をめぐる著作権侵害でAnthropicを提訴(*13) ■KDDIやソフトバンクら、NTT法の見直しに関する要望書を自民党などに提出(*4) ■ジョー・バイデン米大統領がAIの安全性に関する大統領令に署名(*3) ■国連、AIへの対応を協議する諮問機関を発足。メンバーは39人(*21) ■公正取引委員会、Googleを独禁法違反の疑いで審査。自社アプリを不当に優遇の可能性(*5)

11	<ul style="list-style-type: none"> ■生成AIによる岸田文雄首相の偽動画がSNSで拡散。生中継のようにニュース番組のロゴも表示(*30) ■AIガイドライン、「人間中心」など10原則を年内決定する方針。公的機関含め全利用者が対象(*30) ■AI安全サミットにイーロン・マスク氏やOpenAI創業者らが出席へ(*34) ■米併優組合、スト終結に向け製作側と暫定合意(*22) ■NTT法改正、通信3社とNTTがX上で激論。ソフトバンクらが公開議論を要求(*1) ■「国会内でスマホ解禁を」、河野太郎デジタル相への注意が契機、高まるデジタル化の気運(*3) ■生成AIと著作権、文化庁が論点提示。審議会の小委員会で年度内に方向性(*35) ■LINEヤフー、不正アクセスで約44万件超の個人情報漏えい。原因は委託先企業のパソコンのマルウェア感染(*4) ■ノンフィクション作家らがOpenAIとマイクロソフトを著作権侵害で提訴(*34)
12	<ul style="list-style-type: none"> ■「できるだけ多くのGPU提供」を要請。岸田文雄首相がNVIDIAのジェンソン・ファンCEOと面会(*3) ■総務省のNTT法見直しを議論する会合に4キャリア代表が参加、それぞれの主張を展開(*5) ■官報の電子版を正本とする改正法が成立。「ネットで無料の閲覧を可能に」とデジタル庁(*3) ■生成AIのコンテンツ学習は違法のケースも。文化庁の「考え方」素案(*21) ■総務省が2023年度の「周波数再編アクションプラン」を公表、5G普及やドローン活用などを目指す(*5) ■Epic Games、グーグルを独占禁止法違反で訴えた裁判で勝訴(*34) ■グーグル、「サイドローディング簡易化」「アプリストアの選択肢拡大」へ、米国の訴訟和解で(*5)

その他

2023	01	<ul style="list-style-type: none"> ■世界初のGUI搭載パソコン「Apple Lisa」のソースコードが公開。発売40周年で(*2) ■2022年第4四半期の世界パソコン市場は27.8%減で記録的な縮小。通期は15%減で、2023年も回復せず(*2) ■IPA、「情報セキュリティ10大脅威2023」を発表。「ランサムウェア攻撃」が3年連続で組織の脅威1位に(*4) ■10代の約6割が「SNS」で情報収集。50~70代は「テレビ」がトップ(*27) ■2022年10~12月の世界スマホ販売台数は過去最大の減少、IDC調べ(*3)
	02	<ul style="list-style-type: none"> ■2022年のタブレット端末市場は3.3%減で拡大停止。Chromebook市場は48.0%減と大幅縮小(*2) ■AMDアワードの優秀賞に「ウタ」「ELDEN RING」「きつねダンス」など10件(*4) ■新型コロナウイルス接触通知アプリ「COCOA」で行動を変えた人は約7割、デジタル庁が報告書(*5) ■5Gスマホの比率は95%に拡大、MM総研のレポート(*5) ■20~40代経営者の60%がChatGPTを「知らない」との調査結果。なぜか30代の割合が突出(*4) ■関東ではスマホ所有率が小5で半数、中2で8割を超える。NTTドコモのモバイル社会研究所の調査(*5) ■約6割が複数のスマホ決済を併用、MMDの調査(*3) ■米成人の46%はスマホだけで仕事を終わらせている事実が判明(*4) ■ChatGPTはウソをつく。「インターネットの父」ビントン・サーフ氏が批判(*6) ■2022年の音楽配信で2億再生を突破した曲は11曲。『SPY×FAMILY』『ONE PIECE』の主題歌がヒット(*3)

<p>03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■携帯電話の新料金プランの契約数は約5000万に。総務省の調査(*5) ■スマホ利用者の月額利用料金は平均4458円で半年前から91円減、MM総研のレポート(*5) ■「FIFAワールドカップ全試合を無料生中継」のABEMAが大賞に、2022のAMDアワード授賞式開催(*4) ■2022年のスマホ出荷は8.1%減、第4四半期は16%減、IDC調べ(*5) ■2022年の国内タブレット端末の出荷は過去10年で最少、MM総研調べ(*9) ■2022年度のパソコン出荷台数は前年度比14.7%減も、出荷金額は前年度比8.8%増、MM総研調べ(*9) ■2022年の世界AR/VRヘッドセット市場は20.9%減の880万台で急ブレーキ(*3) ■映画『Winny』が公開(*4) ■ネットフリックス、アカデミー賞6部門で受賞。作品賞には届かず(*2) ■ZIP圧縮やPNG、PDFなどファイルフォーマットの基礎を作ったジェイコブ・ジヴ氏が死去(*20) ■Ethernetの生みの親、ボブ・メトカーフ氏がチューリング賞を受賞(*2) ■インテル創業者のゴードン・ムーア氏が死去。「ムーアの法則」を提唱(*2) ■イーロン・マスク氏らIT業界有力者がAI開発競争の停止を訴え。現状は「制御不能」(*22) ■データセンターの新設ラッシュ。「AI活用」で需要が膨らむ、3.2兆円市場の魅力(*3)
<p>04</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「東大生や教員は、生成系AIにどう対応すべきか」、東大副学長が声明。「組み換えDNA技術に匹敵する変革」(*3) ■世界スマートホームデバイス市場は2022年に初の出荷減。今後回復し、2027年まで年8.4%拡大と予測(*2) ■2022年のキャッシュレス決済比率は36%。決済額は100兆超え(*1) ■携帯電話所有者におけるスマホの占める割合は年々増え続けてついに96.3%に到達(*4) ■第1四半期の世界パソコン市場は出荷台数29%減でパンデミック前の傾向に。今後の回復は景気次第(*2) ■パロアルト研究所がゼロックスのもとを離れる(*3) ■YouTubeの『スーパーマリオ』動画が合計1000億再生を突破(*5) ■2022年の国内AIシステム市場規模は3883億6700万円。IDC調べ(*36) ■Apple Watchの所有率は9.7%。MMD研究所が利用実態調査(*2) ■分散型SNS「Bluesky」のユーザー数が急増(*7)
<p>05</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■2022年の日本コンテンツの海賊版被害額は3年前の5倍となる2兆円前後と推計。CODA発表(*4) ■34歳以下のテレビ画面におけるコンテンツ視聴時間はインターネット動画が約3割に(*37) ■日本のLINE利用率は83.7%と、10~60代で8割超え。70代も7割突破時代に(*27) ■世界スマホ市場の2023年第1四半期の出荷は13%減。需要減少は落ち着きつつあるが続く厳しさ(*2) ■2023年第1四半期の世界タブレット端末市場は19.1%減も、パンデミック前の水準に戻る(*2) ■2022年度の国内携帯出荷台数は2000年度以降で過去2番目の低さに(*3) ■スマートウォッチ、2022年度は390万台販売。7年連続で過去最高に(*3) ■Twitter、過去1年に米国ユーザーの6割が利用を中断(*2)

06	<ul style="list-style-type: none"> ■東大が開催した教員向けのChatGPT 講座の映像および資料がオンラインで無料公開(*4) ■日米企業のChatGPT利用率に大差。日本は7%がビジネスに利用、46%が「知らない」(*3) ■全国のIPv6 IPoE 接続契約総数は約1615万回線。IPoE 協会らが発表(*4) ■「大規模言語モデルは犬の知性にも達していない」。メタのAI 科学者ヤン・ルカン氏(*6) ■MM 総研のMVNO 調査、1 位はIIJmio でシェアを拡大(*5) ■「誹謗中傷対策検討会」を設置。UUUM、ANYCOLOR、カバラーが参加(*4) ■クリエイターの4人に1人が「誹謗中傷」経験者。UUUMやGoogleが対策で連携(*24) ■2023年の世界スマートホームデバイス市場は1.8%減(*2)
07	<ul style="list-style-type: none"> ■ChatGPTのトラフィックは9.7%減。サービス開始後初の減少(*9) ■TwitterのトラフィックはThreads開始後に減少。クラウドフレア調べ(*3) ■世界パソコン市場の第2四半期の出荷は13.4%減。これで減少は6四半期連続(*2) ■VTuber市場が2023年度には800億円に到達見込み。同人誌やTCGと同規模に。矢野経済研調べ(*3) ■Threadsの認知率は約5割。利用経験は男女共に10代が最多(*27)
08	<ul style="list-style-type: none"> ■アドビ協働創業者ジョン・ワーノック氏が死去。82歳(*3) ■国内データセンター建設投資予測、2023年の投資規模は3222億円、2024年以降は5000億円超の投資が継続。IDC調べ(*36) ■日本のキャッシュレス比率は36%。現金よりもCO2排出が少ない(*1) ■シニア層におけるLINEの利用率が上昇、メールの利用率を初めて上回る(*4)
09	<ul style="list-style-type: none"> ■スマホ経由のBtoC-EC市場規模は7.8兆円、スマホ比率は約56%(*38) ■10代・20代の6割は歩きスマホをしてしまう。NTTドコモの調査レポート(*5) ■スマホ国内出荷数が大幅減、Android搭載スマホはGoogleがシェア1位に。IDC調べ(*5) ■2023年の国内AIシステムの市場規模は前年比31.4%増の6837億円に。IDC調べ(*39) ■テレワーク実施率は3年間横ばいで約15%。ただし東京では約30%。NTTドコモ モバイル社会研究所調べ(*4) ■2023年第2四半期の世界AR/VRヘッドセット市場は44.6%減。2024年に上向き、46.8%増へ(*2) ■2023年第2四半期の世界ウェアラブル市場は、8.5%増で出荷回復。2027年まで年4.7%ずつ増加(*2)
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ジャパンモビリティショーが10月26日に開催。未来のモビリティからグルメまで(*1) ■『日経Linux』休刊。25年の歴史に幕(*3) ■ついにシニアでもスマホ使用率が9割超える。キャリアシェア上位は「NTTドコモ」「Y!mobile」「MVNO」(*27) ■世界パソコン市場の第3四半期の出荷は9%減。2024年以降はAI対応パソコンが躍進(*2) ■生成AI支出は2027年に約21兆円規模に。IDC調べ(*2) ■2022年度のVR Google販売台数は48万台、2027年度は185万台と予測。MM 総研調べ(*2)
11	<ul style="list-style-type: none"> ■2023年度上期はスマホ出荷が大幅減。携帯電話全体の総出荷数が過去最低(*5) ■携帯大手4社ユーザーの利用料金は平均で月4691円。MMD研究所の調査(*5)

12

- 「2023年末の5G契約件数は16億件」、エリクソンが1億件を上方修正 (*33)
- パスワードレス認証「パスキー」対応のアカウント総数は70億以上に、FIDOアライアンスが発表 (*4)
- ネットフリックス、視聴時間データを初公開。上半期トップのドラマは8億時間超 (*40)
- 国内MVNO市場の実績が2.4%増。MM総研調べ (*5)
- 2023年度上期のタブレット端末出荷台数は過去11年間で最少、Android搭載機がWindowsを逆転。MM総研調べ (*3)
- 2023年のインターネットサービス利用、YouTubeの利用時間シェアが約4割。ニールセン調査 (*37)

Source : (*1)Impress Watch (*2)CNET Japan (*3)ITmedia (*4)INTERNET Watch (*5)ケータイ Watch (*6)ZDnet Japan (*7)テクノエッジ (*8)NTTインターコミュニケーション・センター (*9)PC Watch (*10) ASCII (*11)カレントアウェアネス (*12) Apple Newsroom (*13)BRIDGE (*14)Stability AI (*15)Publickey (*16)日本経済新聞 (*17)WEB本の雑誌 (*18)Media Innovation (*19)ガジェット通信 (*20)Gigazine (*21)朝日新聞デジタル (*22)CNN (*23)CoinDesk JAPAN (*24)Business Insider Japan (*25)ロイター (*26)NHK (*27)Web担当者フォーラム (*28)ギズモード・ジャパン (*29)AdverTimes (*30)読売新聞オンライン (*31)MITテクノロジーレビュー (*32)美術手帳 (*33)日経クロステック (*34)Forbes JAPAN (*35)毎日新聞 (*36)クラウド Watch (*37)Markezine (*38)Yahoo!ニュース (*39)IT Leaders (*40)Wedge ONLINE



1996, 1997, 1998, 1999, 2000...

[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dおよび株式会社インプレスが1996年～2024年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<https://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&Dおよび株式会社インプレスと著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

インプレス・サステナブルラボ

✉ iwp-info@impress.co.jp